

第 19 号

2007 年 6 月●日発行
編集・発行 石井甲一

〒 278-8510
千葉県野田市山崎 2641
東京理科大学薬学部内

印刷・菅原印刷(株)

ふなから

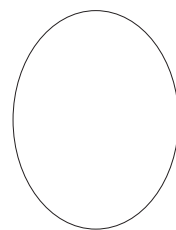


C O N T E N T S

1. 同窓会副会長挨拶（武尾 勝司）	2	13. 同窓会だより	11
2. 薬学部同窓会に寄せて（宇留野 強）	3	薬学部第 1 期同期会の開催	11
3. 学部長挨拶（大島 広行）	4	第 3 期生同期会報告	11
4. 平成19年度同窓会総会および講演会のご案内	4	第12期同期会報告	11
5. 平成19年度「実践社会薬学」の開講	5	14. 卒業に寄せて（小野下 智也）	12
6. 実践社会薬学講座案内	5	15. 2007年度交流会のお知らせ	12
7. 中村輝子先生のご逝去に関して（追悼文）	7	16. 平成18年度同窓会通常総会および講演会について	13
8. 東京理科大学薬学部の近況（上村 直樹）	7	17. 会計報告	13
9. 東京理科大学創立125周年寄付について	8	18. 2006年度会費納入状況報告	14
10. 薬学部退職者、新任一覧	8	19. 氏名・住所・異動等変更届	15
11. トピック	9	20. 会費・寄付納入者一覧	17
最近の薬剤師を巡る動向（小林 寧）	9	21. 訃報	17
12. 卒業生報告	10	22. 同窓会幹事一覧	18
〇〇〇〇（斉田 理砂子）	10	23. 編集後記	18

同窓会からのご挨拶

東京理科大学同窓会副会長 武尾 勝司



恒例では同窓会からのご挨拶は会長が行っておりますが、今年は4人の副会長で一番の年長である9期の武尾がご挨拶させていただきます。

1月、2月は暖冬で今年はこのまま一気に春になってしまうのではないと思われましたが、3月下旬から4月は冬に逆戻りしたような日が続いております。環境破壊が叫ばれて久しいですが、これも自然環境の悪化による仕業でしょうか。

一方、最近の事件として長崎市長の暴力団による射殺事件と米バージニア工科大での韓国系学生による32名の射殺事件が前後して起こり、世間を騒がせております。事件の背景はいろいろと取りざたされていますが、会社を含めいろいろな方面および分野で過度に効率や成果が求められ、人々に心の余裕がなくなり、他人を思う、または見る余裕がなくなっているのも一つの原因ではないかと思われまします。

まず、2月24日に発生しました薬学部同窓会会員の個人情報記録されている外部接続型のハードディスクの盗難による薬学部同窓会会員の個人情報の流出につきましては、既に薬学部長および同窓会長連名でご報告しております。幸いにも今までのところ、不正に使用された、あるいは、被害を受けたとの連絡はいただいております。一番懸念される同窓会費の不正請求詐欺につきましては、同窓会長名でご案内したとおり、会費納入につきましては、この同窓会報「ふなかわら」に同封しております振込用紙をご使用いただくようお願いいたします。今回の事件につきましては、改めてお詫びするとともに再発防止に努めてまいりたいと思います。

さて、私が同窓会幹事の仲間となったのは薬学部同窓会が発足後、4～5年経ってからではなかったかと思えます。当時から最大の懸案事項は財政問題を解決すべくいかに新規会員を増やすかということでした。同窓会報の同窓会長の挨拶で毎年といつていいほどこの問題が取り上げられており、このままでは会員の皆様から納入された会費を食い潰し、数年先には解散しなければならぬ状況とされていました。

しかし、卒業生に対する新たなアプローチを行った結果、卒業生の新規入会率が飛躍的に増加しております。昨年度および今年度は70名以上の方が加入していただくところまでになりました。今後、更なる加入率の向上に向け魅力ある同窓会になるよう努力したいと考えております。努力の一つとして、若干財政的な余裕が出てきましたので、この同窓会報「ふなかわら」を、昨年より

B4白黒印刷からA4カラー印刷とし、紙面の充実も図り、読んで見たいと思われるような会報造りに取り組んでおります。

2005年度版の同窓会名簿は媒体を冊子からCD-ROMに変更したこと、および多くの方の寄付により、広告収入がなかったにも関わらず、現在のところ2000年度版の赤字と比べ大幅に少ない約50万円程度となっております。部数に余裕がございますので、ご希望の方は同窓会事務局まで申し込みいただければお送りいたします。(頒布価格：会費納入者 3,000円、未納入者 5,000円)

実践社会薬学講座は毎回紹介されていますが、各分野の卒業生が固苦しい講義ではなく自分たちの実社会での経験を分りやすく話すという形式で行われ、学生にも好評です。国内の薬学部の講座の中でも非常にユニークな講座と評価および認識されています。今年も5月19日より6月30日まで行われ、卒業生の参加も可能ですので興味のある方は是非聴講いただければと思います。講義内容およびスケジュールはこの会報で詳しく紹介させていただきますのでご参照ください。

ホームページは2年前にリニューアルし立ち上げましたが、経費の問題等あり更新作業が思うように進んでおりませんでした。しかし、経費をかけずに我々自らがホームページの作業が出来るよう設定し、近々定期的に最新情報を掲載できるようになります。いましばらくお待ち願います。

今年の同窓会総会は7月21日に昨年と同じ、飯田橋のインテリジェントロビー「ルコ」で行われます。特別講演は日本薬剤師会の副会長で中医協委員の山本信夫先生にお願いしており、身近な話題である調剤報酬改定、薬価改定等についての最新のお話が聞けるのではないかと思います。現在、神楽坂はフジテレビで放映された「拝啓、父上様」の舞台となったことで、観光地のような賑わいです。仲間とお誘いいただき、神楽坂の再発見と共に同窓会総会にご参加いただければと思います。

最後になりましたが、薬学部同窓会の発展のために会員皆様のご協力をお願いして挨拶といたします。



薬学部同窓会に寄せて（定年退職にあたり）

宇留野 強



薬学部同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年3月末日をもって東京理科大学を無事定年退職することができました。昭和44年4月、薬物学教室の助手として採用されて以来、38年の長きに涉ってお世話になりました。平成8年4月、薬学部改組により、医療系研究室が新設され、臨床薬学研究室に配属されました。平成15年3月、薬学部は野田キャンパスに移転し、ファーマコインフォマティクス（くすりに関する総合情報科学）というコンセプトのもとに新しく生まれ変わりました。この間、大過なく職務を全うできましたのは、故加来天民教授、久保田和彦教授をはじめとする諸先生、諸先輩、同僚、後輩の皆様方のご指導、ご支援、ご協力の賜物と感謝の念に堪えません。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

念願であった薬学部同窓会が設立されたのは、すでに23期生が巣立ってからでした。母校との連携、卒業生同士の交流、情報交換などの場としての同窓会の必要性が叫ばれるようになりました。卒業生有志が設立準備を進め、昭和62年7月、薬学部同窓会が設立され、初代会長に1期生の小原侃氏が選出されました。ここにいたるまでの道は必ずしも平坦ではありませんでしたが、「薬学部同窓会を設立しなければ」という卒業生の情熱が困難を克服したといってよいでしょう。

同窓会として薬学部の教育に貢献した最初の事業は、生涯教育の一環として昭和60年から開催されている「薬学講座」の協賛でしょう。次いで、平成8年4月からスタートし、現在も継続中である同窓会主導型の「実践社会薬学」という在校生に対する講義です。製薬会社関係、病院・薬局関係、行政など様々な分野で活躍している卒業生が手弁当で集まり、計画を立て、講師を務めています。医療現場に関する最新で新鮮な情報や就職に関する情報が得られるなど、受講生の評判もよく、対外的には理大薬学部の特徴ある講義として採りあげられます。

本学薬学部は、平成18年4月から、薬学科（6年制学科）と生命創薬科学科（4年制学科）の2学科からなる新薬学部として出発しました。今後、在学生の病院・薬局における実務実習など、大学と医療現場との密な連携・相互交流において卒業生の役割が大いに期待されるとともに会員同士の情報交換の重要性がさらに認識されるようになるでしょう。同窓会設立時の意気と夢を新たにし、会員の相互交流を密にし、先輩後輩の関係を超越して気楽に議論できる会になることを望んでいます。そのためには、若い会員の積極的な参加と会員一人一人の力の結集が必須です。

末筆ながら同窓会運営基盤の更なる拡大強化を図って戴き、母校と共に益々発展される事を祈念申し上げます。



学部長挨拶

大島 広行



同窓会の皆さん、私は、昨年10月に武田 健先生から引き継いで、薬学部長に就任しました。よろしくお願いいたします。私が理科大学薬学部に来ましたのは、今から20年以上も前の昭和60年4月です。もともと物理学科を卒業した私が、薬学部で教鞭を取るようになるとは夢にも思いませんでした。しかし、理科大学の前身は東京物理学校ですから、大目に見て下さい。

同窓会会報の名「ふなかわら」にあるように、薬学部は、昔、新宿区船河原町にありました。この会報を読まれているほとんどの皆さんが、船河原で学んだはずです。薬学部の野田移転後、もとの薬学部校舎は建替えられ、新5号館となりました。今の住人は、理学部・工学部の化学系の研究室です。しかし、新5号館周囲の街の様子は昔のままです。薬学講座などで、神楽坂を訪れる機会がありましたら、ぜひ、新5号館にも立ち寄って下さい。

私の卒業した高校からやはり同窓会の会報を送られてきます。とくに興味があるのは、同学年の他クラスの同窓会で撮った写真が掲載されている欄です。ずっと音信不通で、自分のクラスの同窓会では会えない他クラスの友人達の数十年後の変わりようを懐かしく眺めています。

す。「ふなかわら」にも、そのような写真を掲載する欄があるとよいと思いますが、いかがですか。そう言えば、今年3月、野田で4年間の薬学部の学生生活を送った野田1期生が卒業しました。その卒業謝恩会で、何人かの先生方の若い頃の写真が会場のスクリーンに大写しになり、盛り上がりました。

さて、東京理科大学は昨年、創立125周年を迎え、新たなスタートをきりましたが、薬学部も、昭和35年に創立以来、50年近く経ちました。そして、昨年4月に、薬学部は、従来の薬学科と製薬学科から、薬剤師教育を主な目的とする薬学科（6年制）と創薬技術者・研究者を目指す生命創薬科学科（4年制）の2学科に再編成され、新しい薬学部がスタートしました。野田キャンパスへの移転とともに、薬学部歴史上の大きな出来事です。私は次のように考えています。薬学部で学ぶ薬学とは、自然科学の一分野というよりも、あくまで、薬の学問です。薬学科の学生だけでなく、生命創薬科学科の学生も医療に深い関心を持つべきです。われわれ薬学部教員自身もまた自然科学の教育者・研究者である前に、薬の学問に携わる医療人としての自覚をもつべきと考えます。

平成19年度東京理科大学薬学部同窓会総会および講演会のご案内

本年度の同窓会総会および講演会を下記にて開催いたします。

◆日 時：平成19年7月21日(土)

◆場 所：インテリジェントロビー「ルコ」
(軽子坂MNビル)
東京都新宿区揚場町2-1
軽子坂MNビル1F

◆次 第：14：00～15：00

同窓会総会

15：00～17：00

特別講演会

「これからの医療保険制度

—診療報酬・調剤報酬、薬価基準—」

中央社会保険医療協議会委員、

日本薬剤師会副会長 山本信夫先生

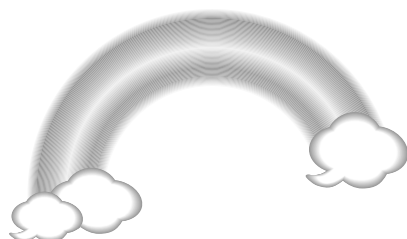
17：30～19：30

懇親会

◆会 費：講演会、総会

*平成19年度同窓会会費未納の方のみ、年会費2,000円を徴収させていただきます。

懇親会 5,000円



平成19年度「実践社会薬学」の開講

「実践社会薬学」も12年目を迎え、本年度は5月19日よりスタートしました。この講座は、他薬科大学、薬学部からも注目されており、薬系雑誌、新聞の記事として取り上げられたこともあります。

スケジュールは以下の通りです。薬局、病院、企業、行政、それぞれの担当者より、社会における薬剤師の関わりに関し、実際的な話が聞けるということで、非常に好評を得ています。

この会報「ふなかわら」が皆様のお手元に届くまでに授業の日程が相当進んでしまっているかと思います。他の企業、病院に勤めている仲間たちの活躍を垣間見ることできますし、担当講師との交友を深めることもできます。同窓生は見学ができますので、是非一度、足を運びください。なお、6月30日が最終日で、この日には、懇親会を予定していますので、多くの方の出席をお願いいたします。

実践社会薬学講座案内

平成18年4月5日～平成19年4月14日

	月日	時間	講師名	タイトル	内 容
導 入	5月19日	13:00～13:05	学 部 長	挨拶	
		13:05～13:10	石井 甲一	挨拶（実践社会薬学と同窓会について）	
		13:10～13:25	安達 順一	実践者社会薬学オリエンテーション	
薬 局	5月19日	13:25～14:40	田中 晴美	薬局を見直そう！－いままで思っていたイメージと違うかも…	保険薬局は単に薬を揃えて「お大事に！」といっているところではない。薬局の機能や薬剤師業務全般について解説します。
				休 憩	
		14:55～16:10	犬飼 陽子	あっと驚く！在宅医療	在宅医療での薬局薬剤師の役割を分かりやすく説明します。
	5月26日	13:00～14:00	熊井 佳子	君にも出来る！薬局開設	薬剤師の唯一の独立の場「薬局」を開設するにはどうしたらよいのか？ 地域に信頼される薬剤師とは？
		14:00～15:00	徳武 用子	セルフメディケーションに薬剤師は必要か？	一般用医薬品に薬剤師はどのように関わっているのか？ ドラッグストアはどんなところか？
				休 憩	
病 院	6月2日	15:10～16:10	菊田 基	企業説明会にだまされるな！	就職活動はどのようにすればよいのか？ よい薬局を選ぶコツを伝授します。
		13:00～13:40	吉延 悦子	実習だけでは分からない病院薬剤師の仕事	働いてみて初めて分かった病院薬剤師業務の実態。やりがいとは何か。医療現場の他職種との関わり、苦勞などをお話します。
		13:40～14:20	柳沢理恵子	糖尿病患者の立場で医療現場に臨むこと	インスリンの剤型など製品特性をMRの立場で説明します。また、病院や調剤薬局の薬剤師さんに期待することを患者の視点でお話します。
				休 憩	
		14:30～15:10	井上 実穂	患者さんの納得する糖尿病療養指導	糖尿病療養指導士の薬剤師には何ができるのか。患者さん満足度を高めるための工夫などもお伝えします。
		15:10～16:10	本間 桂子	臨床に貢献する検査技師の仕事	医療機関の中での臨床検査技師の仕事内容を説明します。日常業務の上に開拓した、分析手法の一例をご紹介します。これぞ、臨床！
					質疑応答

病 院	6 月 9 日	13:00～ 13:40	小島 昌徳	がん専門薬剤師の資格と仕事	薬剤師にも専門性が求められています。「がん専門薬剤師」について、具体的な業務内容も含めご説明します。
		13:40～ 14:30	鈴木 亮子	「一般名処方」とは何でしょう？	「後発品の導入がすすまない」のは何故か？ その対策としての「一般名処方」とはどういうことなのか、事例を含め解説します。
					休 憩
		14:40～ 15:40	鎌田 泉	医療経済学入門	医療不足といわれる時代にあって、薬剤師にできる医療経済的な貢献とはどのようなことがあるか。医薬品管理の経済的な側面についてお話しします。
現 医 場 療		15:40～ 16:10	〔座長〕 上村 直樹	新人薬剤師との座談会	
薬 剤 師 会		13:00～ 13:30	金井 眞	薬剤師になったら薬剤師会に入ろう！	薬剤師会とはどのような団体なのか？ 薬剤師になれば誰でも入れるのか？ 日本薬剤師会と県薬剤師会の違いとは？ その他いろいろな活動をご紹介します。
企 業	6 月 16 日	13:30～ 14:15	吉田 雅人	(概略) こんな会社あるの知ってる？－案外我々薬学部を卒業して活動できるフィールドって広いんだよ－	最近の業界を取り巻く変化の中、いろいろな業種で我々は活躍できるチャンスがあります。医薬品だけでなく、医療機器、食品といった業種、そして、研究、開発、営業、薬事といった仕事の内容について紹介します。
					休 憩
		14:30～ 15:10	角田 俊也	(一般薬) 身近で遠いクスリ一般用医薬品とは	皆さんがTVCMでおなじみのOTC医薬品は、どのように開発され、市場に出されていくのか、またOTCメーカーでの薬剤師の仕事は、OTC販売制度はどうなっていくのか、などについて、医療用医薬品とは一味違ったOTC医薬品の姿をご紹介します。
		15:10～ 15:50	松本 真一	(研究) 薬を創る！－新しいくすりが世に出るまで－	ひとつの化合物はさまざまな過程を経て新薬に育ちます。薬のタネがどのように見い出され、どのような過程を経て薬に育ってゆくか、事例をまじえながら紹介します。
					質疑応答
	6 月 23 日	13:00～ 13:50	若松 正克	(開発) 人体実験なんかじゃない！－新薬の臨床試験－	新薬の候補化合物は、国の定められたルールのもと、安全性と有用性を確認していきます。臨床試験を通じて企業での開発の業務を紹介します。
		13:50～ 14:40	相坂 好美	(営業) MR (医薬情報担当者) のここだけでしか聞けない本音話	MR (医薬情報担当者) の一日・・・「嬉しかったこと」「辛かったこと」に加え、あまり大きな声で言えないような裏話を紹介します。
					休 憩
		14:55～ 15:45	昌子久仁子	(医療機器・薬事) 身近なところにも医療機器ってあるんだよ	機器というと堅苦しい響きがありますが、例えば、身近なところでは“体温計”、そして、“心臓カテーテル”も医療機器なんです。医薬品あるいは医療機器の申請業務の話を交えて紹介します。
		15:45～ 16:10			質疑応答
行 政	6 月 30 日	13:00～ 14:00	久保田有沙	東京都庁に勤める薬剤師って何しているの？	薬学部を卒業して東京都に勤めるとどのような仕事をするのか、予想もつかないと思いますが、意外と身近な仕事なんです。その内容をわかりやすく説明します。
					休 憩
		14:15～ 15:45	磯部総一郎	厚生労働省に勤める薬剤師って何しているの？	薬学部を卒業して厚生労働省に勤めるとどのような仕事をするのか、テレビ、新聞、朝のワイドショーなど身近な話題。聞いたことのある話題からその内容をわかりやすく説明します。
		15:45～ 16:10			質疑応答
全 体		16:30～ 18:00			懇 談 会

中村輝子先生のご逝去に関して（追悼文）

未入稿

東京理科大学薬学部の近況

上村 直樹

以前の薬剤師国家試験は4月初めに行われ、そのために会社を休んだり、卒業旅行もしないで受験対策をしていたものでした。最近の試験日をご存じですか。平成19年は3月10、11日です。結果は4月初旬に発表されます。企業にとってはありがたい話ですが、学生にとっても学生時代最後の休みを思い切りはじけることができるため、ありがたいみたいです。理科大の今年の結果は私立大学として下から5番目という惨憺たる結果でした。とはいってもほとんどが1%を争うような団栗の背比べなので、成績の悪い学生を卒業させない大学の勝ちなのです。この数字に一喜一憂している各大学の対応も変ですが、受験生の動向を左右するため、ある程度しかたないことと受け止めています。

さて、昨年から6年制が始まりました。講義にも「ヒューマンズ薬学入門」が始まり、我々の時代には考えられないような試みが随所にあります。全学年を通してヒューマンズについて学ぶのですが、「生と死」、「医療の担い手としてのこころ構え」、「信頼関係の確立を目指して」を学びます。1年生前期には、早期体験学習というのがあります。これは学生が将来就く職場を見学して、勉学のモチベーションを高める試みです。そしていままでの教育と最も違うのは、長期実務実習だと思います。大学での事前実習が1ヶ月、病院実習2.5ヶ月、薬局実習2.5ヶ月と6ヶ月もの実習が行われます。ただ単に受入病院と薬局を探して学生に行かせるだけなら簡単な事です、これでは実習施設に大きな教育負担をかけてしまいます。それどころか、心構えのできていない学生を送り込めば、迷惑をかけてしまいます。そこで、長期実務実習に出る前の4年後期に共用試験と呼ばれるものを実施することになりました。これは実習に出るのにふさわしいだけの知識、技能、態度を持っているかを試験するものです。当然この共用試験にパスしなければ実務実習に出ることは許されません。そしてこの共

用試験には、CBT（Computer-Based Testing）とOSCE（Objective Structured Clinical Examination）の2種類があります。CBT（写真1）はコンピュータを使用して画面に出てくる知識の問題を1分で解答していきます。OSCE（写真2）は技能や態度を評価するため、評価者の前で実際に散薬調剤をしたり、模擬患者の前で服薬指導をしたりします。理科大でもトライアルが行われましたが、学生はかなり緊張するみたいです。



写真1



写真2 OSCE風景

教育カリキュラムが変化したことにより、大学施設の充実も急がなければなりません。CBTやOSCEを実施するためにはあらたな施設が必要となります。また、新しいカリキュラムでは受身型から参加型へと変化しているため、いままで講義型の教室ではなく自由にレイアウトが変えることができる討議型の部屋が数多く必要となります。ワークショップでお馴染みのSGD（Small Group Discussion）やPBL（Problem Based Learning）といった少人数で話し合うことが主体となっていきます。薬学部・薬科大学は医療薬学棟の建築ラッシュが続いています。理科大でも現在の2年生が5年生になるまでに完成させるべく準備を進めています。4年→6年への変革は想定していた以上に大きなものです。カリキュラムの変更は校舎の新築まで影響を及ぼしています。しかしこれらは、国民に信頼される薬剤師を輩出するために必要な投資であり、必ず大学にも還元されるものと信じています。

東京理科大学創立125周年寄付について

平成17年度同窓会総会にて承認をいただきましたので、平成18年8月に薬学部同窓会より100万円の寄付を行いました。後日、理窓会理事長よりお礼状をいただきました。

なお、募金活動は平成21年まで引き続き行っており、寄付は、すべて周年募金事務室で対応しています。

・125周年寄付問い合わせ先

東京理科大学 周年募金事務室

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

TEL: 03-5228-8723 (ダイヤルイン)

FAX: 03-3260-4363

e-mail: 125shunen@admin.tus.ac.jp

なお、詳細に関しては、<http://www.tus.ac.jp/125/>をご参照下さい。

薬学部退職者、新任一覧

山口稽子先生、宇留野 強先生がご停年により2007年3月末で退職されました。また、鈴木政雄先生も3月末で退職され、いわき明星大学薬学部に移られました。長い間お世話になり、ありがとうございました。これからも同窓会などでお会いできますことを楽しみに致しております。

その他にも退職された先生、新たに着任された先生がおられますので、以下に列举させていただきます。なお、敬称は略させていただきます。

また、今年の4月より助教授、助手という呼称は准教授、助教という職名に改められています。

【退職】 () 内は専攻部門、研究室

宇留野 強	(臨床薬学、宇留野研)
山口 稽子	(社会・情報薬学、鈴木・山口・海保研)
鈴木 政雄	(薬事法制学、鈴木研)
塩川 大介	(生化学、田沼研)
前田 智司	(生物薬剤学、玉井研)
山田 泰之	(生物有機化学、青木研)
田中 尚人	(生命情報科学、宮崎研)

【新任】

谷中 昭典	(教授、臨床薬理学、谷中研)
樋上 賀一	(教授、薬物代謝学、樋上研)
高澤 涼子	(助教、生化学、田沼研)
白坂 善之	(助教、生物薬剤学、玉井研)
藤原 成芳	(助教、製剤学、芳賀研)
北村 正典	(助教、生物有機化学、青木研)
大脇 敏之	(助教、分子病態学、深井研)
鈴木 智典	(助教、生命情報科学、宮崎研)



最近の薬剤師を巡る動向

小林 寧 (26期)

平成19年度になって早数ヶ月が経ちました。本年4月1日から施行された改正法等のうち、薬局や薬剤師に関係する内容を整理してみましたので、確認などにお使いいただければ幸いです。

◇薬局機能情報提供制度

住民・患者が薬局を選択する上で必要な情報を薬局開設者が都道府県に報告し、都道府県がインターネットで公表する制度がスタートしました。薬局開設者は、都道府県に報告した27項目の情報を、自分の薬局でも書面等により閲覧できるようにしなければなりません。

◇薬局における安全管理体制

薬局における医療安全管理体制が薬局開設者に義務付けられました。その内容は、①指針の策定、②従業員の研修、③責任者の設置、④薬局内の事故報告制度、⑤業務手順書の作成、⑥必要な情報の収集等です。このうち、業務手順書の作成は7月1日からの施行となります。医療機関の管理者には、上記に加え、院内感染の防止対策、医療機器の保守点検等も義務付けられます。医療機器の安全管理責任者には、薬剤師もなることができます。

◇患者宅等での調剤業務の一部容認

患者宅や居宅と見なされる施設（有料老人ホームなど）、一部施設の居室（養護老人ホームなど）で、調剤業務を行うことが可能となりました。患者宅等では処方せんの受領から薬剤の交付まで一連の調剤業務を行うことが可能ですが、薬剤の計量、粉碎、混合等は従来どおり薬局で行わなくてはなりません。なお、患者宅等での調剤が認められるのは、①患者が寝たきりの状態、又は歩行が困難である場合、②患者や看護者が運搬することが困難な物が処方された場合、③患者が老人又は一人暮らし等で薬局の営業時間中に来訪できない場合、④遠隔医療に基づき薬剤が処方された場合に限られます。

◇薬局間の麻薬の譲渡し

薬局（麻薬小売業者）間の麻薬の譲渡しが7月1日から可能となる予定です。麻薬の譲渡しを行う可能性のある薬局は、共同で地方厚生局長に申請し、許可を受ける必要があります。譲渡しは同一都道府県内に限られ、また、一薬局が受けられる許可は一つまでとなる予定です。

◇一般用医薬品を3分類

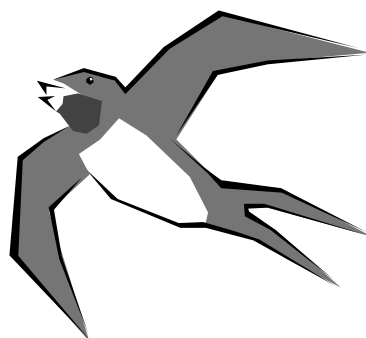
一般用医薬品がリスクに応じて3区分に分類されました。最もリスクの高い第一類医薬品は23成分、第二類医薬品は478成分と漢方210処方、第三類医薬品は732成分となります。第二類医薬品の中で比較的风险が高い42成分については、陳列方法等に工夫が必要とされています。リスク区分の指定は本年4月1日からですが、販売方法等が変更されるのは平成21年度からの予定です。第一類医薬品は薬剤師以外は扱うことができないことになります。

◇その他

介護保険においては、軽度者（要支援1、2及び要介護1）に対する福祉用具貸与の取扱いが変更されています。

また、違法ドラッグ（いわゆる脱法ドラッグ）対策として、違法ドラッグの有効成分を「指定薬物」として指定し、医療・産業用を除いて製造・販売・輸入等を禁止する措置も4月1日より施行されています。

その他、改正医療法において薬局は医療提供施設として明記されたことから、薬局は、平成19年度に各都道府県で策定される医療計画における医療連携体制にも位置づけられることになります。さらに、本年4月1からはがん対策基本法も施行されており、今後、国や都道府県が作成するがん対策推進基本計画にも、薬剤師や薬局が盛り込まれる予定です。





齊田 理砂子 (27期)

屋久島に来て5年ほどになります。卒業後、製薬会社、病院などに10年ほど勤務後、こちらに越してきました。

病院で働くことになり、離島医療の一端ですが体験することとなりました。地続きではないので、どんなに薬が至急欲しくても、もうどうしようもできないという状況を何度も味わいました。最短でも鹿児島の間屋さんに連絡し、飛行機に乗せてもらい、空港まで、車でとりに行くというルートをとるため1日くらいは待つ必要があります。患者さんに何日分か渡し、残りは、荷物が届いてから渡し、又は取りに来ていただける方は窓口に来ていただくということが当たり前です。点滴も同様、交換の時間までにぎりぎり薬が着くなどもたびたび。足の無いお年寄りが多いので、病院が送迎のバスを出しており、発車時刻になると、乗車する患者さんが一斉にお薬を取りにこられ、間に合わせるのに必死に調剤をしたり、台風が来ると船も、ひどければ飛行機も欠航となるので、台風情報により多めに仕入れたりなどなど、離島独特の苦労があります。

生活の方は、車で島1周に3時間という小さなところなのに、2000m近い山々が多数あり、山と海が両方身近に楽しめる不思議なところ。散歩コースが、山奥に行かなければ見られないような沢筋や、林の中や、サンゴの落ちている海辺や、屋久杉のある原生林などで、鹿、猿、鳥、蝶などいろいろな生き物にも会います。人口が1万人くらいなので、渋滞もなく、通勤も遠くても40分くらい、それでもえらく遠いと言われ驚かれます。通勤道路も絶景です。家賃が安く、車で移動なので交通費も安い、店、喫茶店などが少ないのでお金を使う機会も少なく、関東にいたときの約半分くらい生活費になってい

ます。私の家の家賃は高い方なので、一般的な家賃でしたら、生活費も更におさえられるでしょう。車も軽や軽トラなどの方が多く、普通車が珍しいです。経済的なこともあるのですが、畑や釣りなどを仕事または趣味にされている方が多いことや、強い潮風や雨の多さ、台風も多いなど物の傷み方が激しいことなどもあり機能的だと思います。洋服も職場の制服がある方はそのまま着替えず通勤し、買い物などして帰ります。皮靴、皮靴、スーツ姿の人を見かけることもほとんどありません。関東でしか生活したことがなかった私にとってはカルチャーショックで、もちろんいい面、悪い面、両方ありますが、固定観念がこそぎ落とされていく感じです。

屋久島には、スイス自然療法医師（州認定資格）であるスイス人夫妻が開いた欧米で盛んな自然療法を学べる学校があり、学びたくてきました。

理科大の生薬学（長沢先生著）の本に記載ありますホメオパシーというものを始め、植物そのもの、シュスラー塩他を使用します。これらは、植物などを全成分ごと希釈したもの、生体ミネラルを希釈したものなどです。植物の本も長沢先生が後書きを書かれた、ドイツ人医師の本を使用しています。卒業後15年も経ち、また大学の教科書を出してきて学び直すとは思ってもみませんでした。こういった自然治療薬もスイス、ドイツが盛んで、やはりドイツ語も必須ではないが知っていた方がよさそう…。大学で学ぶ科目などは薬に関わっていく限り、選びぬかれたものであり、先生方もそろっていらっしゃる、恵まれた環境だったのだな、などと改めて思い、もっと勉強しておけばよかったなどと、後悔しながらも、新たに勉強をしています。



薬学部第1期同期会の開催

平成18年10月21日(土)午後5時半よりアルカディア市ヶ谷で2年振りの第一期生同期会が開催されました。

今回は、薬化学教室の澤田尚敏氏が代表幹事として担当されました。辰野先生が急にご都合が悪く欠席されましたが、榊原先生と久保寺先生が出席されました。我々同期生の出席者は44名でした。

幹事挨拶の後、榊原先生のご挨拶と乾杯のご発声により賑やかに会が始まりました。

今回が卒業以来初めて出席した方が数名おられましたので、各自のこれまでの経緯と近況報告をしてもらいました。その内で現在も明星食品の代表取締役社長をしておられる水野博信氏からは、一時話題になった村上ファンドの村上世彰氏から株の買占めに関わる激しい交渉について対応した話がありました。

又、遠路富山県から出席された高屋（旧姓柳本）佳子氏が現在勤務している会社の配置薬について特徴ある箱見本を示しながら現状が報告され、懐かしい紙風船が配布されまし

た。更に我々薬学を学んだ者にとって関心のある「薬学6年制」については、今も大学勤務をされている佐武紀子氏から解説がありました。他にも司会者からの氏名で近況報告があり、和やかに歓談が続きました。一期生の卒業生124名の内物故者は、7名。

次回は、衛生化学教室が担当することになり、名残惜しくも予定より遅れてお開きになりました。

(黒崎 記)



第3期生同期会報告

3期生は昭和41年（1966年）卒業です。卒後40年目の節目の年に集まって近況など報告しよう、ということになり鈴木 正雄君 青木 みや子君（旧姓 中村）を幹事役に開かれました。平成18年9月2日(土)東京駅八重洲口近くのレストラン「ロビーホール」で開催されました。17時30分開始、59名が出席しました。前回は平成8年（1996年）に開催されましたので、10年ぶりになります。またほとんどの人は定年退職を向かえ、定年後の人生設

計など話はもりあがりました。まず、物故会員に黙祷をささげ乾杯に移りました。皆さん一気に昔に返ったようです。ここでゴルフ同好会も結成され星野 孝道君を幹事役に年2回くらい開こうということになり、以来ゴルフ好きが集まっています。話もつきませんでした。20時ごろ解散それぞれ2次会などに向いました。

久しぶりに多くの友人に会え楽しいひと時を持つことが出来ました。

(中村 洋司 記)

第12期同期会報告

前号のふなかわらに12期同期会だよりに『これから開催します。』と、お知らせした12期の同期会の報告をさせていただきます。

平成18年7月22日にインテリジェントロビー『ルコ』で開催された平成18年度東京理科大学薬学部同窓会総会への参加を呼びかけ、その懇親会の場で同期会を行いました。参加者は16名と卒業後初めて会った方、前回の同期会以来会った方と過ぎ去った時を忘れさせてくれる楽しい会となりました。

懇親会参加の皆様の前で全員が近況報告と抱負を語りました。行政、病院、メーカー、開局のオーナー、保険薬局に勤務する薬剤師等と報告の内容は“薬剤師不足をつぶやき、薬学教育に期待する発言”と続きます。

懇親会終了後には2次会へそこには石井会長も参加してください、ワインを片手にこれからの薬剤師の明るい未来？？に話題が広がっていきました。

これからも総会の時同期会を開催し、二次会で同期で流れることになりました。

(犬飼 陽子 記)

今思うこと

小野下 智也

私はこの春、東京理科大学薬学部を卒業できたことを心から嬉しく思っています。大学に入ってから4年間はいろいろな人に感謝をしなければならない4年間でした。

特にサークル活動は大学生活のなかで一番多くの思い出を与えてくれました。大学でできた友達の多くはサークルで知り合った仲間です。みんなと共に勉強で苦しみ、感動して泣き、遊んで笑った4年間でした。サークルでは仲間の大切さ、同学年はもちろん、先輩後輩とのつながりの大切さを知ることができ、その仲間と築いた思い出と絆は一生ものです。仲間に本当に感謝しています。

また、1年生のときから始めた一人暮らしは自分を大きく成長させてくれたと思います。それまで親に頼りきりだった家事や家計の管理などを自分でしなければならず、親がいることのありがたみを痛感しました。これからまだ学生の間は親に頼ることが多いですが、卒業後は親に「ありがとう」と伝え、恩返ししようと思っています。

私は現在、大学院へ進学し、さらに薬学の勉強、研究に励んでいます。大学院では自分をもっと成長させるため、医薬品の研究職に就きたいという夢を実現させるために自分に厳しくしていかなければならないと考えています。大学の4年間で、一回り自分が成長したように感じています。社会に出るためにはさらなる成長を遂げなければなりません。医薬品の研究職に就くという夢は高校生のときに抱いたものです。薬学部に進学した理由は高校時代に有機化学・生物学に興味をもったことがきっかけで、興味をもつと同時に将来医薬

品の研究をしたいと心の中で思いました。その思いは大学に入ってから専門的な学問を勉強したことで、さらに強くなっています。その夢を実現させることと残りの学生生活を思い切り楽しむことが私の今の思いです。



「同窓会贈呈記念品：スパーテル」
表面刻印：東京理科大学薬学部 卒業・終了記念 2007年3月
裏面刻印：薬学部同窓会

2007年度交流会のお知らせ

本年10月7日(日)、8日(祝)の二日間にわたり神戸にて第40回日本薬剤師会学術大会が開催されます。この開催に合わせ、同窓会では7日夜に第2回交流会を神戸で開催する予定です。神戸近郊に住んでいられる、また学術大会に参加予定の方は、ふるってご参加下さい。

なお、詳細が決まりましたら同窓会ホームページに案内を掲載いたしますので、こちらをご覧ください。



平成18年度同窓会通常総会および講演会について

平成18年7月22日(土)14:00、インテリジェントロビー「ルコ」において、平成18年度通常総会が開催されました。12期の幹事の金澤幸江氏(12期)より開会が宣言、最初に石井甲一会長の挨拶、次いで、上村直樹氏(23期)が議長に指名され、小松俊哉(20期)、伊集院一成(25期)両氏の議事録署名人指名の後、議事に入りました。

議題は、以下の通りです。

第一号議案 平成17年度事業報告の件

第二号議案 平成17年度決算報告及び監査報告の件

第三号議案 平成18年度事業計画案の件

第四号議案 平成18年度予算案の件

第五号議案 顧問への推薦の件

前会長である黒崎浩己氏(1期)の顧問への推薦

第六号議案 東京理科大学創立125周年記念事業への寄付の件

125周年記念事業に対して100万円の寄付
いずれの議題も原案通り、承認されました。

以上の議案審議の後、石井甲一会長より、第六号議案で承認された寄付金については、事業計画および予算に繰り込む旨の説明があり、承認されました。

同窓会会則の変更はありませんが、役員として 黒崎浩己氏(1期)が顧問に加わりました。

別表

平成17年7月23日の総会の決定により、平成17年7月24日から平成21年7月の総会まで以下のものを役員とする。

役 職 名	氏 名
会 長	石井 甲一(11期)
副 会 長	武尾 勝司(9期) 安達 順一(11期)
	安藤 秀一(22期) 上村 直樹(23期)
会計担当幹事	岡宮 智子(11期)
監 査 役	草本 記子(19期) 高井 幸恵(22期)
顧 問	小原 侃(1期) 山口 稽子(2期)

平成18年7月22日の総会の決定により、平成18年7月23日から以下のものを役員とする。

顧 問 黒崎 浩己(1期)

今回の特別講演会は、原博先生(元東京理科大学教授、現東京薬科大学教授)に、「薬学部6年生-こんなに変わる薬学教育」という題目で、ご講演いただきました。

2005年度会計報告			
東京理科大学薬学部同窓会			
2005年4月1日～2006年3月31日			
収入の部		支出の部	
内訳	金額	内訳	金額
同窓会費	3,589,000	人件費	471,700
名簿購入代	774,000	電話代(KDDI)	57,300
名簿貸付金など	374,000	諸案内状印刷発送費	1,210,364
預金(普通、定期)利息	115	郵便代(切手、はがき、後納)	94,440
懇親会参加費	175,000	講演会謝金	50,000
地区交流会懇親会参加費	264,000	講演会経費(交通費等)	8,070
講演会参加費	4,000	実践社会薬学講師謝礼	80,000
寄付金	125,000	実践社会薬学打ち上げ援助	100,000
		卒業謝恩会寄付	50,000
		交際費	10,500
		同期会協賛金	30,000
		文具・事務経費	142,100
		ホームページ設定・維持費	87,725
		懇親会費	210,000
		地区交流会懇親会費	240,420
		2005年度版名簿作成費	0
		雑費	18,000
		資産への繰り入れ	2,484,496
合計	5,285,115	合計	5,285,115

前年度繰越金	19,962,703
今年度繰高	2,484,496
次年度へ繰越	22,427,199

資産内訳	
郵便局振替口座	2,409,040
普通預貯金	18,652,209
普通預貯金(名簿用)	1,058,904
現金	307,948
計	22,427,199

以上の通り会計報告いたします

平成18年 7月13日

会計 岡宮 智子

監査報告

会計報告の各事項を調査し、その収支ともに正確であることを認めます。

平成18年 7月17日

会計監査 高井 幸恵

草本 記子

東京理科大学薬学部同窓会			
2006年度収支予算			
2006年4月1日～2007年3月31日			
収入の部	金額	支出の部	金額
内訳		内訳	
同窓会費	2,000,000	人件費	700,000
講演会参加費	4,000	電話代	60,000
懇親会参加費	200,000	諸案内状印刷発送費	840,000
地区交流会懇親会参加費	250,000	郵便代	60,000
寄付金	100,000	講演会謝金	50,000
利息	100	講演会経費	63,000
資産(名簿代預金)より繰り入れ	1,148,000	実践社会薬学講師謝礼	60,000
資産より繰り入れ	906,900	実践社会薬学打ち上げ援助	100,000
		卒業謝恩会寄付金	50,000
		交際費	20,000
		同期会協賛金(2期分)	60,000
		文具・事務経費	30,000
		懇親会費	200,000
		地区交流会懇親会費	250,000
		2005年度版名簿作成費	1,716,000
		設備費(実践社会薬学用パソコン)	250,000
		予備費	100,000
合計	4,609,000	合計	4,609,000



同窓会は同窓生の会費で運営されています

薬学部同窓会の皆様、本年も昨年に引き続き会費納入本当にありがとうございました。同窓生幹事一同心からお礼申し上げます。特に、平成19年3月ご卒業、ご修了の多くの新入同窓生の皆様ならびにご父兄の皆様から本同窓会運営に賛同を得ることができましたことを本当にうれしく思っております。

皆様ご存知のとおり、東京理科大学薬学部同窓会は同窓生の会費により運営されております。また、同窓会会則では、薬学部の「卒業生はすべて会員であります。そして同窓会の運営は会費納入者である正会員の真心により支えられております。我々、幹事一同は、皆様の真心に支えられて、本同窓会の運営に努力してまいります。今後ともご支援、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

なお、会則の変更（入会金を廃止し、納入された入会金を会費に移行）に伴い、これまで、会員の会費納入状況を確認して会費納入該当期間の精査を実施してまいりました。この作業が終了し、今回のふなかわら送付時の宛名の下部に記載しました。この作業の遅延に伴い、皆様にご迷惑おかけして申し訳ありませんでした。また、本年度の情報が正確なものですので、ご承知おきください。また、会費納入の際には、同封の郵便局振替用紙をご利用ください。会費は年会費2,000円（何年分でも納入できます）、終身会費50,000円です。ご寄付も受け付けておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成19年度会費納入のお願い

平成18年度に引き続き、平成19年度会費納入をお願いいたします。

会員の会費納入状況は、ふなかわら送付時の宛名の下部に記載してありますのでご確認ください。

（終身・会費納入済み）

終身にわたり会費を納入済みの正会員の方

（H××年・会費納入済み）

H××年度まで会費納入済みの正会員の方

（H19年・会費未納入）

H19年度会費 未納の会員の方



平成18年度（2006年度）会費納入額詳細（平成19年4月30日現在）

	年会費納入		終身会費納入		寄 付 金		合計金額
	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	
2006年卒業・修了者	146,000	9	2,066,000	69			2,212,000
既 卒 者	463,000	93	780,000	16	66,000	5	1,309,000
合 計	609,000	102	2,846,000	85	66,000	5	3,521,000

氏名・住所・異動等変更届

東京理科大学薬学部同窓会宛

記入 年 月 日

下記の変更をお知らせします。

氏名	フリガナ	姓	名	旧姓	フリガナ	姓	名
	漢字				漢字		
卒業・修了	薬学部（薬学科・製薬学科） 期 年卒 (卒・研究室)			大学院（修士・博士） 年修了 (院・研究室)			
住所	旧住所	(〒 -) 都 道 府 県					
	現住所	(〒 -) 都 道 府 県					
	TEL.		FAX.				
		Eメールアドレス @					
勤務先	フリガナ	名称					
	所在地	(〒 -) 都 道 府 県					
	TEL.		FAX.				
		Eメールアドレス @					
その他 連絡事項							

個人情報は 東京理科大学薬学部同窓会の規定に従い管理致します。

【事務所・連絡先】 東京理科大学薬学部同窓会 事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内

FAX : 04-7121-3656

E-mail : jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】 <http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

切り取り線



【事務所・連絡先】

東京理科大学薬学部 同窓会事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内

FAX：04-7121-3656

E-mail：jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】

<http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

行事などに関するご案内など掲載しておりますので是非、アクセスしてみてください。

編集後記

今年の1月、神楽坂を舞台にした倉本聰脚本のドラマ「拝啓、父上様」が放映され、神楽坂界隈が注目されました。毎回のように出てくる熱海湯の階段や毘沙門天に懐かしさを覚えた方も多かったのではないのでしょうか。その影響か、カメラ片手に神楽坂、特に、仲通り、芸者新道などの裏道を散策する人々を多く見かけるようになりました。ボート乗り場のある「カナルカフェ」は、若者に人気のデートスポットとのことです。東京理科大学125周年記念行事としてのキャンパス再構築計画は仕上げの段階に入っており、神楽坂キャンパスも大きく変わろうとしています。神楽坂キャンパスの見学も兼ね、友人、お子様と一緒に是非、お出かけください。

今年、薬学部同窓会より卒業に際し、記念品（スパテル）を送りました。おしゃれな品ではないかもしれませんが、一番馴染んだ品でもあり、実習の思い出と重ねていただければ幸いです。

平成19年度 幹事一覧

小原	侃	(1)
黒崎	浩巳	(1)
山口	堅志郎	(1)
山口	稽子	(2)
鈴木	政雄	(3)
中村	洋司	(3)
池田	幸雄	(4)
宇留野	強	(4)
柏木	敬子	(4)
山川	洋志	(5)
湯田	康勝	(5)
植木	清一郎	(6)
藤井	幸子	(6)
石井	賢二	(7)
寺山	博行	(7)
松岡	隆	(8)
奥村	成太	(8)
澤地	孝	(9)
武尾	勝司	(9)
中島	敏夫	(10)
原	しげ子	(10)
石井	啓子	(10)
安達	順一	(11)
石井	甲一	(11)
小暮	涉	(11)
岡宮	智子	(11)
富秋	英志	(11)
向井	呈一	(11)
金澤	幸江	(12)
犬飼	陽子	(12)
濱野	朋子	(13)
波田野佐	和子	(13)
伊藤	充朗	(13)
伊藤	昭子	(13)
田村	哲彦	(14)
菅原	伸治	(15)
遠藤	健治	(16)
関口	真紀子	(16)
小池	勝夫	(16)
田畑	新	(16)
今	和枝	(16)
渡部	敏行	(16)
青山	隆夫	(17)
渡辺	宏二	(18)
小嶋	知夫	(19)
小松	俊哉	(20)
飯野	直子	(21)
吉田	雅人	(21)
安藤	秀一	(22)
磯部	総一郎	(22)
小川	政彦	(22)
永井	健二	(22)
高井	幸恵	(22)
和田	和裕	(22)
原田	みどり	(22)
北嶋	晶子	(23)
上村	直樹	(23)
伊集院	一成	(25)
小林	寧	(26)
関根	靖之	(26)
前田	真	(27)
大瀧	充	(29)
神谷	貞浩	(29)
内村	兼一	(30)
水	八壽裕	(30)
高橋	未明	(31)
佐々木	正大	(32)
野村	香織	(34)
浅井	将	(37)
大久保	有香	(40)
澤井	美里	(40)
高橋	智至	(40)
石坂	隆史	(院)